

緑あふれるまちづくり

本市には、森林や里山がたくさんあります。これらは私たちの心に安らぎを与えてくれるほか、貴重な動植物を育むとともに、水源の涵養や防災など、多くの重要な役割を担う環境資源となっています。

こうした緑を生かし、未来に伝えていくことは、今を生きる私たちの務めです。今ある緑を保全しつつ、新たな緑を創出し、暮らしに安らぎと潤いを与える緑豊かな都市を形成していくことが大切です。

憩いの空間 「市民緑地制度」

荒れていた里山など、身近な民有地を地域の皆さんが自らの手で管理・整備し、市民の憩いの場として活用する制度です。

市が所有者から土地を借り受け、地域団体などに維持管理と整備を委託しています。



市民緑地すがわら「とおりゃんせ」(神前地区)



初瀬ピオトープの谷市民緑地(桜地区)



市民緑地「かわらだ竹林公園」(河原田地区)



岡山市民緑地(県地区)



下野憩いとふれあい市民緑地(下野地区)



市民緑地「みえ北めぐみの森」(三重地区)



八王子町秋の小径市民緑地(四郷地区)



采女城跡市民緑地(内部地区)

令和3年3月開設
額突山市民緑地
(羽津地区)

令和2年11月開設
すいざわ市民緑地
(水沢地区)

新たな市民緑地

昨年度新たに開設した二つの市民緑地で活動している団体の皆さんにお話を伺いました。

額突山市民緑地



頂上からの眺望がおすすめです。きれいな日の出が見られるので、毎年初日の出を見に行っています。

羽津地区まちづくり推進協議会
会長 内田寛さん



子どもの頃から身近にある山でしたが、近年は手入れがされず竹林・雑木林になっていました。どうにかしたいと、市民緑地として整備をしました。整備をする中で新たな古墳が発見され、歴史的価値も再認識しました。自分たちが子どもの頃そうだったように、自分たちで遊びを考えて楽しめるプレーパークのような形で利用してもらいたいと思います。

すいざわ市 市民緑地 茶ざなみ広場



(令和3年3月撮影)

住民から提供し、地元のみこの辺りはシフェンスで囲むまだまだ整備したいですね。

された茶畑を市民緑地として活用しようとなんで協力して整備しました。カヤイノシジが出るので、侵入を防ぐための対策をしています。途中ですが、水沢の自然とともに見てもら



広場だけではなく、山や茶畑と一体となった景色がお薦めです。



水沢史跡・名勝保存会の皆さん

皆さんも身近な
緑を守り育てる活動に
参加してみませんか

花と緑いっぱい事業

身近な公園や街路などの公共空地で、花壇づくりや緑化活動を行うボランティア団体などに対して補助を行っています。今年度は80団体がこの制度を利用して活動しています。



川島地区



海蔵地区

生垣設置助成制度

道路に面する土地に新たに生垣を設置したり、ブロック塀を生垣に転換したりする場合に補助をしています。



▲生垣の設置前(上)と設置後(下)

四日市市緑化基金

市民や企業の皆さんからの寄付金、霞ヶ浦地区のコンビニ企業からの負担金を四日市市緑化基金に積み立て、花と緑いっぱい事業や公園愛護会の活動などに活用しています。